



「知・徳・体 調和のとれた児童の育成に向けて」

校長 中村 義郎

令和元年度 神根小学校春季大運動会は、先月5月25日(土)、たくさんのご来賓と保護者、地域の皆様のご臨席のもと、盛況のうちに開催することができました。当日は、この時期としては、異例の暑さとなったため、プログラムの変更、また、午後の競技の打ち切りといった対応をさせていただきます。急な変更でご迷惑をおかけいたしましたがおかげ様で大きな怪我、事故なく終わることができました。皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。

午前中のみの実施となりましたが、子供たちは、暑さに負けず、真剣なまなざしで、演技・競技に取り組み、練習の成果を発揮していました。特に、練習に多くの時間を割いてきた表現運動は、どの学年も見応えがあり、子供たちの躍動する姿、誇らしげな表情が印象的でした。

運営面においては、地域の方のご厚意による児童席のテント設置、PTAの方々によるネッククーラーを冷やす氷の補充、おやじの会の皆様を中心とした会場整理、後片付け等々、多くの方々にご協力をいただいたこと、重ねて感謝申し上げますとともに、引き続き子供たちのため、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、4月号で、神根小の学校教育目標は「**か**しこい子、**み**んな仲良く助け合う子、**ね**ばり強い子」と、お知らせしました。この目標は、知育、徳育、体育の3つの側面から成っています。変化の激しいこれからの時代を生き抜く子供たちには、知・徳・体の力をバランスよくはぐくみ、「生きる力」を育成することが重要とされています。

本校では、全職員が共通理解のもと、目標達成のために意図的な教育活動を行っています。その具体例について、今後実施予定のものも含め、紹介いたします。

知：かしこい子 <基礎・基本の確実な定着、知識・理解、思考力、表現力の育成>

- 研究テーマ「ユニバーサルデザインの視点を生かした(誰にでもわかりやすい)授業の研究・実践 学習のねらいを明確にする、視覚化、学習環境の工夫等
- 自力解決、ペア・グループでの伝え合いを取り入れた主体的、対話的な学習指導の実践
- 一人一人の実態に応じた学習指導 算数ティームティーチングの実施、指導の工夫
- 朝のパワーアップタイム(国語・算数)の実施、取組内容の工夫
- 各学力調査の結果分析及びそれに基づく課題の明確化と指導の重点化

徳：みんな仲良く助け合う子 <認め合い、磨き合い、豊かな感性もった子の育成>

- 道徳科の授業を中心とした道徳的心情・判断力・実践力の育成 心を耕す授業実践
- 読み聞かせ・読書タイムの実施、図書館司書・ボランティアと連携した読書活動の充実
- 児童が所属感、充実感を味わえる学級経営の工夫 学級活動の充実 満足度調査の実施
- 校外学習の機会を生かした体験活動の充実と規律ある態度の育成
- 挨拶運動の推進 ○生徒指導・教育相談等の充実

体：ねばりつよい子 <心身ともにたくましく、最後までがんばる子の育成>

- 体育の授業を中心とした体力の育成 持久走、なわとび、水泳カード等による目標設定
- 体力テストの結果分析及び補強運動の実施 ○なわとび大会の実施
- 全職員共通理解・共通行動による規律ある態度の育成

・ ・ 等々

今後、実態を踏まえ、さらに特色ある取組を推進して参ります。取組を効果的に推進するには、ご家庭の協力が欠かせません。早寝早起き朝ごはん、持ち物の準備、宿題・家庭学習の実施につきまして、今後ともご協力をお願いいたします。